

学期	月	育成する資質能力 (CAN-DO記述・重点目標)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (主な言語活動等)	評価の 観点	領域					評価項目 数	主な評価規準 (評価方法)
						聞	読	取	発	書		
前期	4	「聞くこと」異文化体験に関するコメントや提案の概要や要点を聞き取ることができる。	Unit 1 From Another Point of View	Pair/Group talk, Listening for the gist and details, Retelling	知 思 態	○ ○ ○					3	活動の観察 後日筆記テスト
		「聞くこと」異文化体験に関するプレゼンテーションの概要や要点を聞き取ることができる。 「書くこと」支援を与えられれば、日本人に住む外国人の人へのアドバイスを簡潔に書くことができる。	Unit 1 From Another Point of View	Pair/Group talk, Listening for the gist and details, Writing	知 思 態	○ ○ ○				○	6	活動の観察 ワークシート 課題 1
	5	「読むこと」インターネットの特徴についての説明文をキーワードを捉えながら読み進めることができる。	Unit 2 Is That True?	Pair/Group talk, Reading for the main ideas and details, Retelling	知 思 態	○ ○ ○					3	活動の観察 後日筆記テスト 課題 2
		「読むこと」メディアリテラシーについての記事を、意見を述べることができるように、多面的・批判的に読むことができる。 「話すこと」語句等の支援を与えられれば、スマートフォンについての自分の考えや情報を補足説明と共に伝えることができる。	Unit 2 Is That True?	Pair/Group talk, Reading for the main ideas and details, Debate	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○				6	活動の観察 ワークシート 課題 3
	第1回 考査	第1回考査			知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○				4	リーディング力を評価する問題 リスニング力を評価する問題
		6	「聞くこと」世界の海が抱える問題についての講演の概要や必要な情報を聞きとることができる。 「話すこと」世界が抱える環境問題について、聞き手の理解度を確認したり、発話の内容が理解できないときは聞き返したりしながら、協力して話を続けることができる。	Unit 3 Ocean Life	Pair/Group talk, Listening for the gist and details	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○				6
	「読むこと」プラスチックごみ等の問題に関するインタビューをつながりを表すことば(First、Second、Also、等)に注意しながら読むことができる。 「話すこと」海が抱える問題について、与えられた立場から意見を述べることができる。		Unit 3 Ocean Life	Reading for the outline and details, Extra Reading, Role-play	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○				6	活動の観察 ワークシート 課題 5
	7	「話すこと」自分の好きなことについて、切な姿勢で、相手を見ながら、音量や速度に注意して話すことができる。	Show & Tell	Pair/Group talk, Rehearsal	知 思 態				○ ○ ○		3	<u>パフォーマンステスト1</u> 活動の観察
		「読むこと」難民支援活動についてのウェブページをお読んで、概要と必要な詳細を捉えることができる。	Unit 4 With a Little Help	Pair/ Group talk, Reading for the gist and details	知 思 態	○ ○ ○					3	活動の観察 後日筆記テスト 課題 6
	8	「読むこと」がん研究支援基金を設立するきっかけとなった少女の話を5W1Hを捉えながら読み、登場人物の気持ちや言動の理由を理解することができる。 「話すこと」ボランティア活動について、相手の発話に対して質問する・コメントするなど対話の内容を発展させながら、話を続けることができる。	Unit 4 With a Little Help	Pair/Group talk, Reading for the outline, Inference	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○				6	活動の観察 ワークシート 課題 7
		第2回考査			知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○				4	リーディング力を評価する問題 リスニング力を評価する問題
	9	「読むこと」ベルギーのサッカーチームの話を読んで、そのチームにおける英語の役割を理解する。	Supplementary Reading Belgian Soccer Team	Pair/ Group talk, Reading for the gist and details	知 思 態	○ ○ ○					3	活動の観察 ワークシート 課題 8

学期	月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の 観点	領域					評価 項目 数	主な評価規準 (評価方法)	
						聞	読	取	発	書			
後 期	10	「聞くこと」長寿と健康につながる要因について、既に知っていることと関連づけながら聞くことができる。 「話すこと」食べ物や趣味等について、聞き手にわかりやすいように、構成等工夫しながら話すことができる。	Unit 5 Living Longer and Better	Pair/Group talk, Listening for the gist and details, Retelling	知	○			○		6	活動の観察 後日筆記テスト 課題 9	
					思	○			○				
					態	○			○				
		「聞くこと」沖縄の人々の生活についてのルポルタージュについて、既に知っていることと関連づけながら聞くことができる。 「話すこと」健康に良いものについて、聞き手にわかりやすいように、構成等工夫しながら話すことができる。	Unit 5 Living Longer and Better	Pair/Group talk, Listening for the gist and details, Mini Presentation	知	○			○		6	活動の観察 後日パフォーマンステスト 課題 1 0	
					思	○			○				
					態	○			○				
	11	「読むこと」異文化交流についての記事を、読み取った情報をもとに書き手の意図や情報を推測しながら読むことができる。 「話すこと」自分の地域の祭りについて伝えた後、質問の内容を確認しながら適切に答えることができる。	Unit 6 Beyond Borders	Pair/ Group talk, Reading for the gist and details, Inference, Retelling	知		○		○		6	活動の観察 後日筆記テスト 課題 1 1	
					思		○		○				
					態		○		○				
		「読むこと」カンボジアの遺跡と歴史教育プログラムに関する記事を読み取った情報をもとに書き手の意図や情報を推測しながら読むことができる。 「話すこと」自分が興味のある世界の祭りについて発表し、質問の内容を確認しながらこたえることができる。	Unit 6 Beyond Borders	Pair/ Group talk, Reading for the gist and details, Inference, Retelling	知		○		○		6	活動の観察 後日パフォーマンステスト 課題 1 2	
					思		○		○				
					態		○		○				
	第 3 回 考 査	第 3 回 考 査				知	○	○				4	リーディング力を評価する問題 リスニング力を評価する問題
		思	○	○									
	態												
	12	「話すこと」自分が興味のある世界の祭りについて発表し、質問の内容を確認しながらこたえることができる。	Festivals in the World	Group Preparation, Rehearsal	知				○		3	<u>パフォーマンステスト 2</u> 活動の観察 課題 1 3	
					思				○				
					態				○				
		1	「読むこと」ネス湖の恐竜に関するDNA調査に関する話を読んで、科学調査の概要を理解することができる。	Supplementary Reading The Mystery of the Lake	Pair/Group talk, Reading for the outline, Inference	知		○				3	活動の観察 後日筆記テスト ワークシート、課題 1 4
						思		○					
						態		○					
	2	「聞くこと」くまのバディントンの起源についての記事を、話し手の意図や情報を推測しながらできる。 「書くこと」くまのバディントンの起源についての概要をまとめて書くことができる。	Unit 7 At a Station in London	Pair/ Group talk, Reading for the gist and details, Inference, Retelling, Summary Writing	知	○				○	6	活動の観察 ワークシート 課題 1 5	
					思	○				○			
					態	○				○			
「読むこと」ホロコーストから子供達を救った人物について、背景等すでに知っていることと関連づけながら読むことができる。 「話すこと」与えられた立場から、論理的に考えを補足説明と共に伝えることができる。		Unit 7 At a Station in London	Pair/ Group talk, Reading for the gist and details, Inference, Retelling, Debate	知		○	○			6	活動の観察 ワークシート 課題 1 6		
				思		○	○						
				態		○	○						
3	「読むこと」アレサ・フランクリンの生涯と社会の動きなどの関わりについて、意見が述べることができるように、多面的・批判的に読むことができる。 「書くこと」アレサ・フランクリンの生き方や、人権問題についての意見を簡潔に書くことができる。	Supplementary Aretha Franklin: The Queen of Soul	Pair/Group talk, Reading for the outline, Inference	知		○			○	6	活動の観察 後日筆記テスト 課題 1 7・1 8		
				思		○			○				
				態		○			○				
	第 4 回 考 査	第 4 回 考 査				知	○	○				4	リーディング力を評価する問題 リスニング力を評価する問題
		思	○	○									
		態											

3 評価の観点

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	予備知識を与えられれば、はっきり話された対話や説明の概要・要点や話し手の意図、必要な情報を目的に応じて捉えるための知識・技能を身につけている。	予備知識を与えられれば、平易な英語で書かれた説明、物語を読んで、書き手の意図、要点・概要、必要な情報を目的に応じて捉えるための知識・技能を身につけている。	支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、情報・考えを補足説明をつけて伝えたり、論理的に伝え合うための知識・技能を身につけている。	支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、情報・考えを補足説明をつけて伝えたり、論理的に伝えたりしている。	支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、説明や意見などを補足説明とともに論理的な文章構成を意識して書くための知識・技能を身につけている。
思考・判断・表現	予備知識を与えられれば、はっきり話された対話や説明の概要・要点や話し手の意図、必要な情報を目的に応じて捉えている。	予備知識を与えられれば、平易な英語で書かれた説明、物語を読んで、書き手の意図、要点・概要、必要な情報を目的に応じて捉えている。	支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、情報・考えを補足説明をつけて伝えたり、論理的に伝え合っている。	支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、情報・考えを補足説明をつけて伝えたり、論理的に伝えたりしている。	支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、説明や意見などを補足説明とともに論理的な文章構成を意識して書いている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されていることを聞くようとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれていることを読むようとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝えようとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて書こうとしている。

4 評価の方法

定期テスト、パフォーマンステスト、英単テスト、ワークシート・課題提出、活動の取り組み
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

グローバル化の社会では英語のコミュニケーション能力が求められます。また、大学入試においても実践的な英語力が問われるので、英語の知識を獲得するのももちろん、英語の運用能力を高めていきましょう。そのためには、英語のアウトプット（話す、書く）を意識して、インプット（聞く、読む）することが大切です。英語のまま理解し、英語の発想で表現できるようなるために、授業は基本的に英語で行います。予習はしなくて良いですが、授業後自分がきちんと理解できたかどうかを確認し、わからない部分は辞書や参考書で調べたり、音読したりするなど復習しておきましょう。宿題・課題は必ず期限を守って提出してください。違う文化を持つ人にも自分の意見を言えるような英語力・積極的な態度を身につけること目指します。授業中に受け身の姿勢で学習するのではなく、授業内外で積極的に自ら進んで英語学習に取り組むことを望みます。英語学習を通じて、視野を広げ、人として成長していきましょう。高校生レベルの辞書（電子辞書でも紙の辞書でもどちらでも可）を各自用意してください。
--